

新政会 関連質問



高橋 忠 議員

**Q** 椎名市政の4年間、山武市の将来を見据えた基礎づくりはどのくらい達成したか。

**A** 市長 山武市の土台づくり、基礎づくりに取り組んだ。まだまだ自己評価は十分ではないと思う。

**Q** 合併後二千人余り人口が減少、地域の担い手や地域の活力がなくなり山武市の再生は難しくなる。通勤の利便性向上、雇用の場の確保に取り組むべきと思うが。

**A** 市長 地域に雇用を起すことによって活力を増すことができる、これは否定できないこと、積極的にこの地域に雇用を起す努力をこれからも取り組んでいかなければいけないと考えている。

**Q** 為政者、政治家としての椎名千収が官僚トップの椎名千収なのか、政治家としての立場で明確なビジョンを発信していただきたい。

**A** 市長 一つは、政治的課題を解決する立場、積極的姿勢で市民の夢をかなえるべく、しっかりと政治を導いていく立場。もう一つは行政組織を円滑に、能動的に組織したい思いが強くなる。市民の生活を豊かにする、市民の生活を守る、幸せを増していくという目的のため二つの目的をバランスよく追及していかなければならない立場にあると認識している。現状においては、私の指導力が強く求められていると認識をして、しっかりと市の方向性をわかりやすくビジョンとして打ちだしていく必要があると考えている。

勢で市民の夢をかなえるべく、しっかりと政治を導いていく立場。もう一つは行政組織を円滑に、能動的に組織したい思いが強くなる。市民の生活を豊かにする、市民の生活を守る、幸せを増していくという目的のため二つの目的をバランスよく追及していかなければならない立場にあると認識している。現状においては、私の指導力が強く求められていると認識をして、しっかりと市の方向性をわかりやすくビジョンとして打ちだしていく必要があると考えている。

公明党 代表質問



川原 春夫 議員

● 教育行政について

**Q** 国民読書年の本年、図書館における貸し出し冊数を伸ばすための取り組みについて、ブックスタート事業ですが、2冊から1冊になっているとのことですが。

**A** 教育長 小学校に対して、種々の図書室整備・配本サービスを行っている。ブックスタートについては、予算等の意

見交換のなかで、2冊に戻す方向で努力をしてまいりたい。

**Q** 山武市少年スポーツクラブの施設使用料について。平成21年4月1日から、施設使用料の改定がなされ、長年に亘るの意義ある大会、市の内外から参加されての由緒ある大会等が有料になった点について大変に残念に思うが、教育長の見解を伺います。

**A** 教育長 規則制定に至る経緯や他団体との公平性を鑑みたととき、規則は規則として履行させていただき、何か別の形で支援できるように考えてまいりたい。

**Q** 子ども達を対象にした税の勉強は、現在どのような状況になっていますか。

**A** 教育長 小学校で8校、中学校で1校実施。今後、市内の多くの学校で実施できるように市の課税課と学校との連携を密にしていきたい。

**Q** 親業事業、家庭教育事業、子供人権事業等の状況はどのようになっていますか。

**A** 教育長 各小中学校、幼稚園、保育所で保護者が主体となつての家庭教育学級、家庭教育講演会を開催します。それから親業事業も継続拡充します。

**Q** 郷土芸能振興の取り組みについては如何でしょうか。

**A** 教育長 年1回の郷土芸能振興大会を開催。わずかな補助で団体の方々の御努力にすぎるところが多くなっている状況です。

**Q** 23年度予算、「なるとう子ども園」の土地購入額とその財源について。

**A** 保健福祉部長 土地購入等財産購入費として2億円を計画。財源は合併特例債と一般財源を見込んでいます。

**Q** 白幡の旧児童保健院跡地の活用について、今現在どのように検討されているのか。民間への払い下げ等も視野に入れて今度検討されたことはあるのでしょうか。

**A** 市長 東京都と話し合いの必要が残るのかもしれないが、可能であれば民間への譲渡も考えの中に入ってくると思う。

**Q** 睦岡小学校児童クラブについて。

**A** 保健福祉部長 小学校から約800m離れた睦岡幼稚園の跡地を利用しています。保健福祉部としては、なるべく校舎内での児童クラブということを考えています。

**Q** 公明党がかねてから提案してきた、父子家庭支援。本市の考え方はどのようなになっていますか。

**A** 保健福祉部長 22年8月1日に施行される予定で、財源の負担は、国が3分の1、自治体が3分の2、山武市としてはこれを受け入れて、この事業を行う方向です。世帯数、家庭の把握については広報等で周知し、申告をしていただくようになります。

**Q** 公明党は女性の健康を守るため、検診受診率の向上を訴えてきた。その結果、平成21年度補正予算では、子宮頸がんの検診無料クーポン配布と検診手帳の交付を実現させることができたが、本市における現在の検診状況また取り組みについては如何でしょうか。

**A** 保健福祉部長 検診手帳の配布は合計3648人に送付。また無料クーポン券は合計2981人に送付しました。受診状況は1月末の時点で、乳がん検診が478人、子宮がん検診は315人で、合計793人の受診者がありました。

**Q** 小中学校の耐震化事業について、21年度の補正予算で22年度に実施するというこの計画は、その通りに進むという